

やまがた 議会だより

平成26年4月

No. 108

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 上條光明）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



子育て支援センター「すくすく」4月1日より本格スタート

- | | | | |
|-----------------|---|--------------------|-----|
| ■第1回議会定例会 | 2 | ■一般質問 | 3～6 |
| ■主な議案 | 2 | ■議員活動4年間を終えて | 6～8 |

山形村ホームページ <http://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

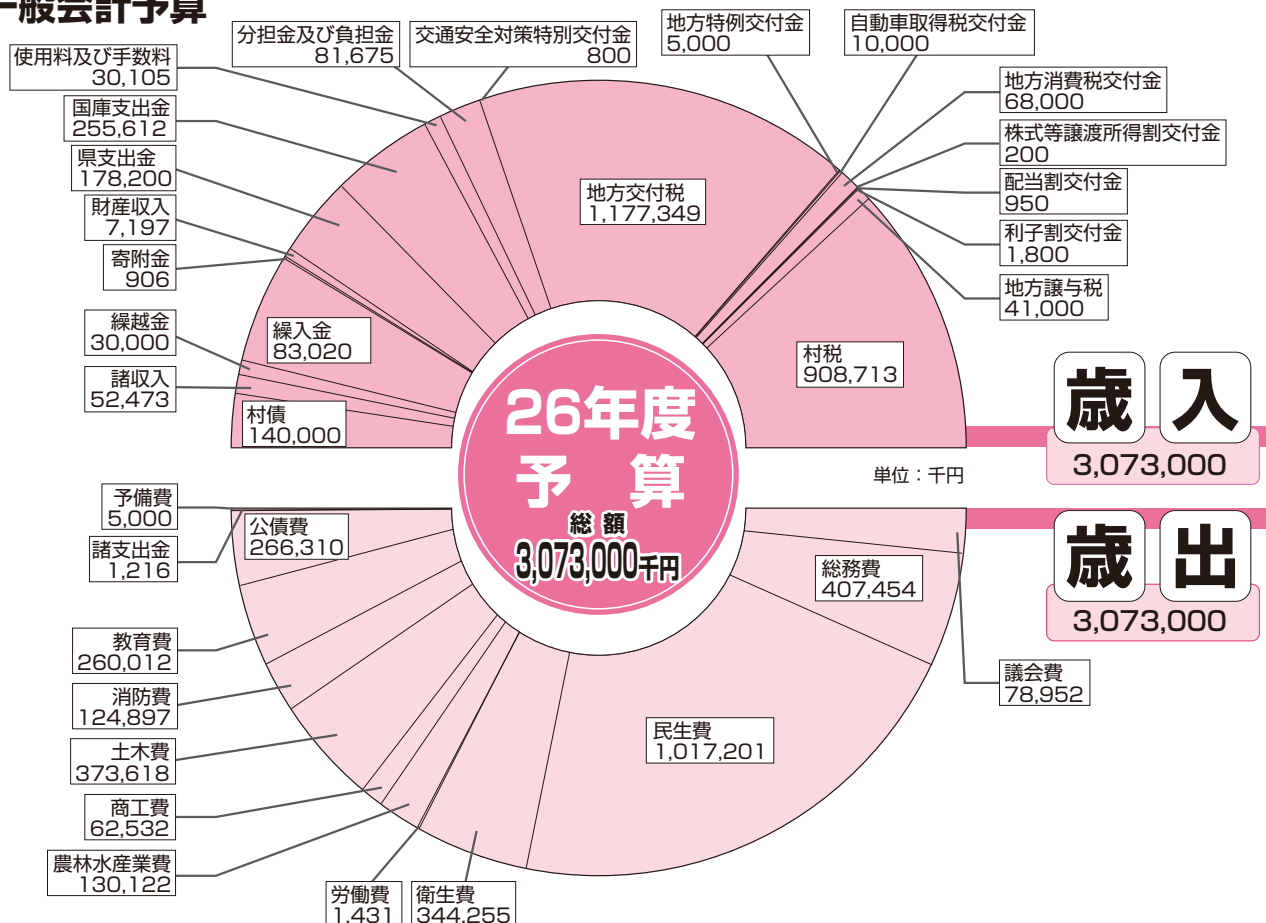
平成26年
第1回 議会定例会

平成26年度予算を可決

平成26年第1回山形村議会定例会は2月27日から3月10日までの12日間行なわれた。

山形村子育て支援センター「すくすく」の条例の制定をはじめ請願2件、陳情1件、条例制定2件、条例改正6件、平成25年度補正予算などが、委員会審議を経て原案どおり可決され、一般質問は6日に9人が登壇し、村政全般について質問した。

■一般会計予算



■平成26年度 特別会計予算 (単位：千円)

予 算 区 分		平成26年度 予算額
国民健康保険特別会計		1,100,000
後期高齢者医療特別会計		63,927
介護保険特別会計		650,038
清水高原簡易水道特別会計		13,800
公共下水道特別会計		447,400
水道事業 会 計	収 益 の 収 入	213,300
	収 益 の 支 出	195,250
	資 本 の 収 入	2,020
	資 本 の 支 出	71,500

平成26年度 予算説明

●主なもの

- ・ゴミ袋代金値下げ
- ・水道料基本料金百円値下げ
- ・4メートル未満道路の簡易舗装に着手
- ・開村百40周年事業に2百万円

同意

- ・監査委員の選任
笹野初雄氏（上竹田）

（全会一致）

報告

- ・松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定例会について
- ・工事の発注状況について

道路の認定

- ・北160号線（延長72・8m）

（全会一致）

■平成25年度 補正予算 (単位：千円)

予算区分	補正額	予算総額
一般会計	105,202	3,677,923
国民健康保険特別会計	2,012	1,131,674
後期高齢者医療特別会計	1,988	57,062
介護保険特別会計	△6,848	650,157
清水高原簡易水道特別会計	△310	14,289
公共下水道事業特別会計	△4,190	431,350

条例制定

- ・子育て支援センター施設の設置及び管理に関する条例
- ・社会教育委員設置条例
(全会一致)

条例一部改正

- ・税条例
- ・国民健康保険税条例
- ・非常勤消防団員に係る退職報奨金支給の条例
- ・清水高原簡易水道条例
- ・下水道条例
- ・水道事業給水条例
(全会一致)

請願

- ・特定秘密保護法の廃止を求める請願
- ・集団的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する請願
(多数)

陳情

- ・労働者保護ルール改悪反対を求める意見書
(多数)

大雪災害対策本部設置

●2月8日～9日 50センチ

●2月14日～16日 76センチ

役場観測点で近年にない大雪が2週にわたり降り、村職員は休日を返上して除雪にあたった。

また農業用ハウスは山形村全体で100棟余りが雪害を受けた。

村では除雪費用

約3千万円追加補正

32年ぶり

山形村議会議員選挙 無投票で決まる

任期満了に伴う議会議員選挙は3月25日告示され、32年ぶり無投票で12人の当選が決まった。



大池俊子議員、竹野入恒夫議員が全国町村議会議長会において、議員在職15年以上で全国町村議会議長会表彰を受けた。



そこが聞きたい

一般質問

3月議会定例会は6日に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って9人が質問した。

幅員4メートル未満村道の簡易舗装について

村長 再生骨材使用、耐久性は5年程度



小林 武司 議員

Q 平成26年度から、4メートル未満生活道路の簡易舗装が実施されるが、その概要と耐久性等は。

A 村長 村としては4メートル未満の簡易舗装については、原則、表層のアスファルト舗装のみで表面の粗い再生骨材の使用を考えている。

また舗装の高さは現状とし、雨水排水等の改良工事は行なわない予定。

平成24年に簡易舗装を試工した路線について、

一部穴の開いた箇所もあったが、全体の舗装については良好であるので通行量にもよるが、概ね5年間は耐久性があるものと予想される。

このことから、簡易舗装を実施した路線については、当面4メートル以上の改良舗装は行なわない予定である。今後、各区から希望路線について申請がある場合、土木委員会等で調整をしながら予算の範囲内で実施をしていく。

その他に、野生鳥獣被害と猟友会員の減少について質問した。

少子化対策は

長 定住促進等に向けた
村 総合的な施策展開が必要



三澤一男 議員

Q 少子化対策の施策は、どのように考えているのか。

A 村長 総合計画で平成34年度人口予測の9千人は、定住環境をさらに向上することにより、予測を上回る人口設定をした。定住促進のため、住宅リフォーム、新規就農支援、新生児育成支援等の施策を行なっている。

いる。

また、雇用対策として若者の地元就職や、高齢者・障がいのある方の雇用促進に向け、関係機関との連携や、広域連携で雇用促進に努めている。

Q 子育て支援センターが完成するが、ふれあいの館の運営はどのように考えているか。

A 村長 ふれあいの館は小学生以上が主な対象。子育て支援センターは保育園や幼稚園への就園前の概ね3歳未満

の児童とその保護者を対象として考えている。

その他に、保育料無償化の考へについて、ながの子育て家庭優待パスポートの事業継続について確認した。



子育て支援センター

村長 前向きに検討したい

消防団支援について



宮沢 敏 議員

Q 近年消防団を取り巻く環境は、構成する団員の高齢化やサラリーマン団員も多くなると、一段と厳しくなっている。団員の確保は

A 村長 消防団を中核とした地域防災力

Q 最近家族や警察官、弁護士などを装って家族が借金や交通事故などのトラブルに巻き込まれたとウソを伝え、解決のためのお金を要求してきたりする還付金詐欺が増えているようだが、被害の状況と対策は。

A 村長 被害の受付状況は平成25年度の4月から12月までの相談で43件。知識として悪質商法の

その他に、橋梁の長寿命化計画について質問した。



インフラ整備について

村長 公共建物を除き
計画的に進んでいる



上条浩堂 議員

Q 村内インフラ整備に必要な箇所と予算はどれくらいか。

A 村長 道路に関しては、一般村道は村費にて3年ごとの実施計画に基づき実施（各年度約千5百万円―実施計画より引用）。水代線等の幹線については、工事費用が多額なため国の補助事業となる。

橋梁に関しては、2メートル以上55橋を平成27～36年で、各年度2百3百万円の修繕費を見込み、補助率は2分の1。河川に関しては、3年ごとの実施計画にて村費で実施（各年度約4千5百万円―実施計画より引用）。

上水道に関しては、平成29・30年に浄水場及び配水池等の改修計画で、事業費は概算約1億円。下水道に関しては、長寿化のため平成26～30年の5カ年で、総額約3億千6百万円で、補助率は2分の1。起債の借入れと基金からの繰入を計画。

スカイランド清水に関しては、主な改修は終了しており、平成26年度に空調の一部改修に8百64万円を見込む。

保健福祉センターに関しては、今年度風呂改修関係で約6百万円を見込む。

財政に関しては、ここ数年安定的に推移しているため、今回の水道基本料金やゴミ袋料金の値下げは問題ないし、村債が更に増えても問題ない。

防災・減災体制の万全な確立を

村長 避難所マップを作成し配布を検討



大月 民夫 議員

東日本大震災から3年

が経過した。「山形村は
大丈夫」という過信による
楽観視は、いざ有事の際
には、慌てふためく脆さ
を露呈する心配がある。
防災・減災について
全村民が認識を共有する
体制の確立が必要であ
る。

Q 耐震に不安のあつ

た公共施設の改築・
補強を重点的に実施して
きたが不安要素は一掃で
きたか。

A 村長 予定事業は

終了したが、今後は
「ふるさと伝承館」をど
うしていくかが課題であ
る。

Q 災害時要援護者の
避難支援体制は。

A 村長 今後、登録
者本人の同意を得な
がら、地区防災会へ名簿
提供なども視野に入れ、
十分な体制作りを協議し
ていく。

Q 第一避難所がどこ
にあるのか認識して
いない村民が多数いる。
最新の避難所マップを作
成し全戸配布を早急に実
施を。

A 村長 村としても、
避難所マップ的なもの
を作成し配布したい。
避難所ごとの責任者明記
については、各自主防災
会と協議をして検討する。



用水路金網の柵に

穴が開いて危険！対策を

村長 開渠部分に全て蓋を設置する計画



竹野 入恒夫 議員

平成17年度から行つて
きた用水路の改修工事も
26年度を持って完成する
見込みになっている。

A 西沖の地区の用水
路は、地上に出ている
部分の場所が4百メー
トルほどあるが、金網の
柵に穴が開いて危険な箇
所が沢山ある。26年度ま
でに改修工事できるのか。

Q 村長 国営右岸幹
線の西沖地区の開渠

元気の項目、 基本計画との整合性は

村長 計画を実施していくことで 元気が生まれる



竹野 園磨 議員

Q 村長はこれまで
「日本一明るく元気
な村」を目指すとして具
体的にその項目を挙げて

きた。昨年の11月時点で
93件あり、年内には百件
を越すだろうと言われた。
その内容は広報や施政
方針で示されてきた表彰
を受けたこと、視察者が
来たこと、起工式が行な
われたことなどであるが、
本当に「元気な村」の要

部分については、設置か
ら年数が経過しているた
め、老朽化によりフェン
ス部分に多数の破損箇所
が発生してきている。施
設を管理する中信平右岸
土地改良区では、管理区
域の巡回をする中で危険
箇所を発見次第、ロープ
及び進入禁止のテープ等
で応急措置を行なってい
た。

予算措置等の関係で、
現在まで根本的な復旧に
はいたっていないが、国
営中信平2期土地改良事

素としてこの種の件数が
増えることを村民は期待
しているだろうか。

A 村長 新しいこと
と、話題があり人が集
まったこと等が村の元気
であり元気になっていく
ことである。

Q 施政方針では第5
次基本計画を確実に
実行していくことだと
言っている。このような事
業が計画のどこに載って
いるか、また計画とどの
ように整合性が取れてい
ると考えるか。

交流宿泊施設「スカイ
ランドきよみず」の今後
の考え方については通告
しておいたが時間がなく
質問できなかった。

業の平成26年度の工事に
おいて、調整池や開水路
に発生する藻の対策を含
め、開渠部分に全て蓋を
設置する計画。近隣の耕
作者の方や通行される皆
さんには、もうしばらく
心配をお掛けするがご理
解いただきたい。

その他に、記録的な大
雪・空き家対策について
質問した。

A 村長 第5次基本
計画及び施政方針に
掲げた33項目の全てが新
しい要素であり、それを
実施していくことによつ
て新しい元気が生まれる
ということである。

地域防災へ呼びかけは

村長 特に行なわなかった



大池 俊子 議員

2週連続の豪雪で、
村の対応は。

A 村長 第1回目の
対策本部を2月14日
午後5時30分に立ち上げ、
4回にわたり対策本部を
開いた。20日より松電山
形線は通常運転に、23日

までに基幹道路などの雪
の撤出も一通り終了した。
地域防災会や村民
への協力の呼びかけ
は。

A 村長 自主防災組
織には、特に行なわ
なかった。PTAなどに
は呼びかけた。地域でも
自主的に歩道の除雪をし
た地区もある。各分団に
は水路の点検や見回りを
お願いした。

施政方針の重点はなにか

村長 開村百40周年に向け日本一明るく
元気な村づくりを目指す



柴橋 潔 議員

Q 施政方針中の項目
は全て村民にとって

重要なものであるが平成
26年度特に力を入れた
項目はどれか。

A 村長 継続事業、
新たなものの両方に力
を入れるのはもちろんで
あるが、特にといえば今

は全て村民にとって

Q 平成23年に支え合
いマップ委託料が予
算化され(補助金5百万
円)、総務課と共同で入
れ合い作業を行なうとさ
れた。その後どう進めら
れたか。

A 総務課長 3月20
日に区長との会議を
計画している。

被害状況は。「剪
定など遅れるので消
雪材をまいたが数万円か
かった。村でも救済をし
てほしい」との声もある。

A 村長 大雪により
被災した農業者が、
意欲を持って農業を継続
していけるよう万全の対

策を講じていく。しかし、
結果的には予想を上回る
積雪で除雪に時間がかか
ったことは事実である。
雪が災害とは考えなかつ
た。



年は山形村が明治7年10
月22日に誕生して以来百
40年に当たるのでよい機
会ととらえ日本一明るく
元気な村づくりをPRす
る、山形村百40周年記念
としていろいろな事業に
冠を付け取り組みをする。
記念事業のアウト
ラインは。

A 村長 小樽の小林
観光大使の健康テー
マのシンポジウムや京都
清水寺の森貫主、東京五

輪招致委員で下竹田出身
の上條清文さんの講演、
NHK朝のラジオ体操が
トレセングラウンドから全
国放送される計画がある。
他にじゃんずらを始め今
までの行事も取りまぜ山
形村の話題一杯の元気を
発信する。

その他に、除雪の件で
村道であり4メートルの
生活道路で除雪対象外が
何路線もあり、見直しを
求めた。

議員とは、何をなすべ
きか?自分の考えだけを
発言するのではなく、常

に住民の声を聞きながら、
物事を考え、「住民の目
線」で発言をすることが
大切だと反省をさせられ
た4年間であった。

議員活動の思い出

常に住民の目線で



大池 俊子

「わたし」の思い
議員活動4年間を終えて
村民の皆さんのご支援・ご鞭撻をいただき、村会議員4年
間の任期を終えることができました。
誠にありがとうございました。
今期務めた12人の議員が議員活動を振り返りました。

この4年間は、山形保
育園園舎建設、子育て支
援センター建設、消防団
詰所建設と建設ラッシュ
であった。子育てと防災
の拠点はほぼ完成し、安
心して子育てができ、災
害に対してもひと安心で
ある。



三澤 一男

振り返ってみると、特
に保育園入札では特別委
員会を作ってまで議論し
た。予定より1週間遅れ
で議会議決となり、工事
は遅れて冬にまでかかっ
てしまった。食材業者は
裏口からの運び入れの時
間がかかり、悲鳴をあげ
ていた。

思い出としては、保育
園園舎入札における、最
低制限価格と同額入札の
件であります。議会は特
別委員会を設置し、村長
はじめ担当者や入札に係
わった業者の方へ聞き取
り調査をし、結果、臨時
会に於いて、同額の可能
性はあり得るとの賛成討

振り返ってみると月日
はこんなに早く過ぎるの
かと実感しています。行
政経験のまったくない私
が戸惑ったことは、その
内容の広さと、行政用語
でした。

思い出としては、保育
園園舎入札における、最
低制限価格と同額入札の
件であります。議会は特
別委員会を設置し、村長
はじめ担当者や入札に係
わった業者の方へ聞き取
り調査をし、結果、臨時
会に於いて、同額の可能
性はあり得るとの賛成討

論をしたことです。

また、この4年間に有志の議員による定期的に行なった自主的な勉強会は、行政全般にわたり幅広く学ぶことができました。

議員は自ら研鑽し、議論のより深まる議会となることを期待し思い出します。

4年間を振り返って



小林 武司

「一視同仁」を座右の銘として務めてきました。

長い間懸案となっていた保育園建設や、子育て支援センター建設、分団消防詰所建設等の事業、また、3年前の東日本大震災後は、国の方針も加わって公共建造物の耐震工事など防災面の事業も早急に進められました。

また、スカイランドきよみずの指定管理者制度、住宅リフォーム事業、新規就農者支援事業、里山整備等にも関与してきました。

TPP、道州制、風食

問題等の研修検討も携わってきました。私の勉強不足を憂うと共に、村のための行政の難しさを感じています。

議会の思い出



神通川清一

2期8年、議員退任に当り、村民の皆様には大変お世話になりました。

これまでの自分の歩んできた経験を元に、村政を担い提案していこうと挑みましたが、勉強、力不足のところが多々ありました。

任期2年議長をご下命いただき議会改革の思いはありましたが、多忙を極める議長職に終わりました。その渦中、保育園建設での入札問題、特別委員会では議長は中立の立場から除外となりましたが、委員会の結果を村民への説明責任を果たしていないと批判をいただいたことは今でも心苦しい思い出です。最後に、山形村の益々の発展を願います。

お礼とします。

議会活動の思い出



宮沢 敏

任期中の思い出として残っていることは、毎年1回実施されている福祉文教常任委員会の行政視察が思い起こされます。

先進地へ赴いて最新の情報を得ることは何よりも重要と思われれます。そこで、今までに視察研修をした中で最も心に残っている場所はどこか調べたところ、一昨年訪問した学校地域支援本部の先進地である杉並区立杉並第一小学校でした。見守る地域ボランティアの子育て経験豊かな皆さんは、連日ローテーションを組みながら、数多くの方が参画しています。山形小学校も、一昨年5月より「学校地域支援本部」が立ち上がり、地域ボランティアの輪も着実に広がってきています。その輪が年々拡大することを期待したいと思います。

2期8年の感想



竹野 國麿

平成23年6月の臨時議会案は「保育園建設工事の請負契約の締結について」であった。

8億円を超える契約金額であったが村が予定していた金額にピッタリ一致したことに大きな驚きと同時に疑念が持たれた。落札者自身が宝くじに当たったようなものだと言っていた。村民の中にも驚きの声が上がった。

特別委員会を設け調査をしたが疑念を払拭でき得なかったことが心に残っている。

市町村合併に終止符が打たれ地方分権改革、制度改正の動きが早い。

地方議員もチェック能力を高めていかなければならない。有志で資質向上めざし定期的に勉強会をしてきたが、何時までも続けられることを願っている。

4年間を振り返って



柴橋 潔

民意が反映される村政をと4年間活動してきましたが、最初は何もかも初めての経験でとまどふことばかりでした。有志

による勉強会の仲間になり自治法や村条例、予算決算審査の勘所や情報交換の中に議会の中身が理解でき楽しい一時を持つことができました。二元

代表制の一輪として一般質問等を通じ村政の課題に取り組みましたが、どこまで村民の付託に応えることができたか今だ分らないところですが、辞することとなりましたが、多くの村の皆さんや友人に支えられ活動できたことに感謝致します。

2期8年お世話になりました



中村 弘

保育園は昨年、子育て

支援センターも今年4月に動き出しました。山形村の子どもの拠点ができました。

思い出深い事業である自主防災組織も、村をあげて活動してもらっています。緑豊かな山形村の更なる発展に期待し、また新議員さんの活躍を期待します。

職員の皆様も、長年ありがとうございました。

保育園工事落札額で調査特別委員会設置



竹野入恒夫

平成23年6月29日山形保育園建設工事の入札で、落札額が、村が設定した最低価格と同額の8億3千7百24万6千500円だった。

村は6月に施行した最低価格制度を、保育園の建設工事で初めて導入した。20日に県内10業者による指名競争入札を行ない、松本市内の業者が落札した。この金額は、村が設定した予定価格9億3百26万8千5百円の90

%とした最低価格と同額だった。

村は、予定価格は、入札当日の朝に設定し、落札額と最低制限価格が同じになったのは全くの偶然などと説明した。議員からは「10円単位まで合致するのは不自然」といった疑問や、入札額の算出方法への質問が相次いだ。

本会議で特別委員会を設置し、議案を付託する動議が出され、可決した。議長を除く全議員11人で構成し、委員長に大月民夫議員が選任された。

7月8日までの会期中何日も特別委員会で業者などに出席要請をして調査したが、議会の調査だけでは深く追及することができなかった。そして工事請負契約を締結する議案が可決された。

「支え助け合い」の村づくり



大月 民夫

4年の歳月は「光陰矢のごとし」でした。

子育て支援と高齢者福祉の分野に、重点的な財政投入をした期間であったかと思われる。

今後、新装の施設に如何に命を吹き込み、多くの村民の皆さんに「心の安らぎ」を提供できるか、行政・議会に課せられた大きな使命であり、手腕が問われることになりました。

手を拱いていると、都市部特有の「希薄感が漂う」方向に、山形村といえども行ってしまう。支え助け合う風土作りに、皆さんで力を出し合いたいと思います。

これから議会に望むこと



上条 浩堂

4年前議会へのポジションをいただいた後、最初の疑問はなぜ議員間での討論の場がないのかでありました。しかし今は違います。全員協議会の後等に、議員間討論ができませんし、大変ありがたと思っています。議員

間での意見の違いや、主義主張が異なるのは当たり前ですし、もし討論の場がないなら、他の議員の真意が分からず、相互理解は勿論真つ向からの反対もしづらくなります。共に勉強会等を開いたりし、広く知識を共有することも可能となります。今後この体制をさらに推し進め、村のためになるべく議会の体質を高めていただければと思います。

議員の思い出



上条 光明

私が8年前議員に立候補した最大の目的は、山形村の財政はどうか、そして今後自立は可能かを検証し実践することでした。私見ですが、財政については平成17年度から平成21年度までの5年間に行なった、『山形村集

中改革プラン』によって確実に健全財政になり現在も堅持しています。また、『山形村存続』の件は松本市を中心とする広域連携を取っていけば、交付金大幅カットなど国の方針に急激な変化がない限り自立は可能と考えます。任期中の思い出は、紙面の関係で列挙できませんが、村民益を優先に考え理事者そして同僚議員と熱い議論をしたことが懐かしいです。

旬の味

2月はマイナス10度以下となる厳寒期であるが時として南岸低気圧の影響により上雪という大雪をもたらす。8日、14、15日の雪は1メートル以上となり平成13年の雪をはるかに超え、初めての経験となった。車社会の昨今除雪なくしてはいかんともしがたい。今まで村は近隣に比べ除雪に関しては秀でていた。今回も雪害対策本部を早々に立ち上げ対応したが、ままならぬ結果となり行政だけでは限界があった。一番心配したお年寄が自分の木戸先や前道の雪かきは当り前のことと平然としていたことに驚き教えられることとなった。こんな時こそのご近所力が協働の村づくりの原点となる、村民が皆同じ思いをした雪になった。

柴橋 潔

編集後記

今年は2月の大雪で村内の交通がマヒになり農業用ハウスが倒壊し、年度末に多額の補正が組まれることになりました。今年には議会議員の選挙で議員が替わりました。村民の皆さんには議会報原稿依頼にご理解ご協力いただきありがとうございます。これからもよろしく願います。

議会報編集委員会一同

議会日誌

△12月▽

- 5日 議会運営委員会
- 7日 山形村社会福祉協議会「福祉のつどい」(ミラ・フッド館)
- 11日 第4回議会定例会
- 12日 一般質問
- 16日 総務産業常任委員会
- 17日 福祉文教常任委員会
- 19日 第4回議会定例会最終日
- 25日 第5回議会臨時会
- 福祉文教常任委員会(子育て支援センターほか)

△11月▽

- 7日 山形村役職員新年会(ミラ・フッド館)
- 13日 消防出初式・分団祝賀会
- 17日 山の神祭(トレセン)
- 23日 総務産業常任委員会
- 24日 議会全員協議会
- 27日 福祉文教常任委員会
- 31日 正副議長・正副常任委員長研修会(キッセイホール)

△2月▽

- 6日 明るい選挙推進大会(ミラ・フッド館)
- 17日 鉢盛中学校組合議会(鉢盛中学校)
- 21日 議会運営委員会
- 25日 福祉文教常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 第1回議会定例会
- 議会全員協議会